

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	〇マラソンを通じて、市民のスポーツ意識の高揚と健康増進、体力の向上を図るとともに、広く市外から参加者を募集することにより、市の物産や観光情報を市外からの参加者に提供し、地域の活性化に寄与する。マラソン大会実行委員会を実行母体として毎年3月に桜川市総合運動公園にて開催。マラソン大会申込サイト、市広報、ホームページ等にて参加者を募集。親子の部（1.5km）小学生の部（2km）中学生の部（3km）一般の部（5km・10km）26種目の表彰。タイム計測や順位については計測タグに行っている。大会は、スポーツ推進委員、体育協会、スポーツ少年団、一般ボランティア、警察、交通安全協会等の協力をいただき運営されている。 【事業費の内訳】・報償費（謝礼、メダル代）・需用費（食料費、消耗品費）・委託料（計測）					・マラソン大会実行委員会にて事業計画、予算、運営計画等の協議・パンフレット、ポスター作成配布（参加者募集）・臨時駐車場借用・申込サイト手続・参加賞用意・警察署への各種申請協議・協力団体打合せ・参加者取りまとめ・出店関連準備・プログラム作成・委託契約・コースセッティング（計測タグによるタイム計測、記録証発行、賞状発行等）・参加者へゼッケン、計測タグ配布・大会当日の大会運営				
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 （担当者の活動内容）			④活動指標 （活動量を表す指標）		単位	29年度 （実績）	30年度 （実績）	01年度 （計画）	02年度 （目標）	03年度 （目標）
事業計画・予算・運営計画等の協議、参加者募集 計測業務委託、大会運営			開催回数		回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			実行委員会会議・協力団体説明会回数		回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）			⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）		単位	29年度 （実績）	30年度 （実績）	01年度 （計画）	02年度 （目標）	03年度 （目標）
・市民			常住人口		人	41,278.00	40,483.00	40,027.00	39,571.00	39,115.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）			⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）		単位	29年度 （実績）	30年度 （実績）	01年度 （計画）	02年度 （目標）	03年度 （目標）
・市民が健康増進、体力向上を図ることができる。			参加者数		人	2,732.00	2,581.00	2,800.00	2,800.00	2,800.00
			(内)市内の参加者数		人	1,473.00	1,411.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3) 投入量（事業費）の推移				29年度 （実績）	30年度 （実績）	01年度 （計画）	期間限定 総投入量			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0	
			県支出金	千円	0	0	0		0	
			地方債	千円	0	0	0		0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0	
			その他	千円	0	0	0		0	
			一般財源	千円	2,382	2,290	2,420		0	
		事業費計（A）		千円	2,382	2,290	2,420		0	
		正規職員従事人数		人	8.00人	8.00人	8.00人			
30年度事業費 実績（千円）				01年度事業費 予算（千円）						
事業費の内訳	08 報償費		306			08 報償費	281			
	11 需用費		176			11 需用費	329			
	13 委託料		1,808			13 委託料	1,810			
			合 計	2,290			合 計	2,420		
(4) 当該年度の実施内容		01年度の事業内容		02年度の事業内容		03年度の事業内容				
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業										

事務事業名	桜川市さくらマラソン大会運営事業	事務事業No.	20401000073	所属課	スポーツ振興課
-------	------------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
昭和54年～市民のスポーツ意識の高揚と健康増進、体力向上を図るとともに、市民並びに参加者の交流を図ることを目的とした大会として開始された。 平成24年度より参加料を徴収し、参加者が2,000人を超える大会となった。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
・「種目にハーフマラソンを追加してほしい」 ・「安全管理を徹底してほしい」	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている さくらマラソン大会を通じて、市民のスポーツ意識の高揚と健康増進、体力向上を図るとともに、市民並びに参加者の交流を図るという目的（意図）は、走ることを楽しみながら健康的に明るい豊かな生活を送るという結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	☒ 妥当である 市民に走る機会を提供することにより、上記の意図、結果を生んでいく契機となっている。市民誰もが健康的に明るい豊かな生活を送るため、運動やスポーツに親しめる環境を作っていかなければならない。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がない 参加者は横ばい状態である。近隣で開催されている大会でも同様である。交通規制強化などの安全確保、参加者車両の効率的な駐車はできている。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 大会参加に向け日頃練習している人の意欲を削ぐとともに、運動やスポーツに対して無関心な人の健康増進や体力向上について考えるきっかけ作りが失われる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	☒ 削減余地がない 市予算及び大会参加費を徴収し行っている事業である。近隣市町村をみても妥当な参加費である。また、大会の準備等も最小限の人数で行っており、大会の協力体制もボランティアによる協力を得ているため、これ以上の事業費の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
☒ 公正・公平である 市内小中学生以外は参加費を徴収するようになったので、受益者負担は公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																					
⇒		・参加費を取るようになってから参加者が増加したが、近年は横ばいである。10キロコースが交通規制となり、安全確保が図られたが、通過車両からは苦情が出ている。また、参加者ニーズにどのように応えていくか、それにより参加者の満足度が上がると考えられる。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持		<table><tr><th colspan="4">コスト</th></tr><tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
コスト																								
	削減	維持	増加																					
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ⑥																						
		コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐